



## 保護者の皆様へ

イギリスに一人の老人が住んでいました。自分の家の前の空き地には毎日子どもたちが集まってクリケットをして遊んでいました。子どもたちは無心に時間を忘れて遊ぶのですが、老人にとっては家のすぐそばで毎日子どもたちのあげる歓声や笑い声、話し声が耳について、うるさくて仕方がありませんでした。どうやったらこの子どもたちの遊びをやめさせて、静かな生活に戻れるかを考えました。そこで、ある日遊んでいる子どもたちを集めて言いました。君たちが元気に遊んでいる姿が嬉しいので、一人に百円あげよう、と配りました。次の日には貯金のことも考えないといけないので、と少し減らし、日を迫うごとに、今度物要りがあるので、年金暮らしは大変なんだ、と次々に減らし5円ほどになった時、「なんだ、これっぽっちしかもらえないじゃ遊んでも面白くない。」と子どもたちはクリケットを止めてしまいました。これは土屋賢二氏がエッセーの中で紹介していた話です。子どもにとっては、遊ぶということに純粋な喜びと興味があり、放っておいても夢中になるのですが、そこにお金（報酬）が結びついた時、その喜びが失われてしまった、という考えさせられる話です。

世界の中には、紛争や貧困などで学校に行けず、学校に行きたい、勉強がしたいと熱望している子どもたちが大勢います。女学院の記録を読んでも、戦時中被爆直前の頃、学生生徒でありながら、勉強はおろか、入学以来登校さえもままならず労働や作業の日々が続く中で、学びたい、友達と一緒に学校生活を送りたいと、生徒たちが強く願っていたことが記されています。幼児が何を見ても、「これなーに？」としつこく問いかけて親を困らせる姿に見られるように、本来人間の中には、様々なことをもっと知りたい、向上したい、という気持ちが備わっています。小学校、中学校、高校と年齢が進むにつれて、その質問は幅広く、より深くなり、学ぶ喜びも同時に大きくなっていくはずですが、しかし、残念ながら現実にはそれが阻害されている事態も多く見られます。国による 学校 と言う制度も国益という枠がありますし、どんなに学びたい事があっても経済的な制限や、多額な出費をする親の期待や心配、学校の体制や教員の思いなど、純粋に学びの喜びだけを追求するということが許されている訳でもないでしょう。しかし、そうであっても、学校で生活し、学んでいくことの中には、本来人間に備わっている学びへの渇きに応えてくれる素晴らしいものが存在しますし、教員たちはひたすら生徒たちがそんな出会いを出来るようにと、日々工夫努力をしています。子供たちが内にある学びへの乾きを意識し、それらのことと結びついていくなら、毎日の教室は更に活き活きとしたものになることでしょう。今、様々な形で教育改革が進められ、大学入試制度や指導要領も変わろうとしています。その意図は様々にあるでしょうが、学んで向上する喜び、それを共に為す喜び、人のために役立つ喜び、平和を生み出す力となる喜び、と言った本来の学びの喜びと結びついたものになってほしいものだと思います。

いよいよ文化祭が近づいてきました。生徒たちは追い込みの時期を迎え、暗くなるまで準備に打ち込んでいます。行事は学科とは別の分野で生徒が大きく成長する姿を見ることが出来る貴重な機会です。是非生徒たちの活躍をご覧頂きますと共に、PTAや保護者の方々による催し、同窓会のバザーと合わせて今年度の文化祭が成功裏に終わりますことを祈っております。どうぞ宜しくお願い致します。

聖書の言葉 「主を畏れることは知恵の初め」 旧約聖書 箴言 1章 7節

追伸 ニュース速報で、この度のノーベル平和賞に選ばれた国際NGO核兵器廃絶国際キャンペーン「ICAN」の授賞式に、被爆証言者としての一人にサーロ・節子氏が呼ばれるとありました。(10月27日)  
彼女は広島女学院在学中に被爆、現在カナダ在住。この度の国連での「核兵器禁止条約」成立にも貢献され、ご本人もこれまでにノーベル平和賞候補にノミネートされた方です。

(校長)

## 創立記念礼拝

9月30日（土）、創立131周年創立記念礼拝に女学院の卒業生で東京都原爆被害者の会（＝東友会）副会長の山田玲子さんをお迎えし、次のようなメッセージをいただきました。

5年生の時、己斐国民学校の校庭で被爆。戦後すぐ、1947年に広島女学院中学校に入学した。日本中がまだまだ混乱している中、全く違う新しい世界がそこにあった。自由で、個性を大切にしてくれて、「一人一人が力をつけてこの日本を創っていくんだよ」と教えられた。24歳で東京に出たが、被爆者に対する厳しい差別があった。

1985年から、ヨーロッパをはじめ世界20数か国で原爆の恐ろしさ、核廃絶を訴えてきた。国や政府はなかなか変わらないが、一般市民や学生は真剣に受け止めてくれた。アメリカの高校生の「アメリカはあなたたちに謝りましたか？」という質問に「いいえ」と答えると、「ごめんなさい。許して下さい。」と言ってくれた。国を動かすのは市民。

今、女学院の高校生たちがさまざまな平和活動に積極的に取り組んでいると聞いた。応援しています。共にがんばっていきましょう。



(宗教教育委員会)

## 学年行事の報告

### 《中1》 バイブルデイキャンプ

今年度よりスケジュールが変更され、バイブルデイキャンプと遠足が別日に行われることになりました。デイキャンプの内容は開会礼拝・映画「ジーザス」鑑賞・クラス代表の聖書劇発表です。

映画では、毎日の礼拝で耳慣れてきた聖書箇所がイエスの口を通して語られる場面をたくさん見ることができました。当時の生活様式や風土も映像で知ることができたので、聖書の世界がぐっとわかりやすくなったと思います。劇は代表グループだけの発表でしたが、聖書の場面を日々の生活に重ねたり、自分たちの言葉でわかりやすく解釈したり、上手に工夫していました。

さて、これが終われば中1もいよいよ本格的な女学院生でしょう。聖書からの大切なメッセージをたくさん受け取って生きる指針にしてほしいと思います。

(中1宗教係)

### 《中1》 学年遠足

中1は広島市立安佐動物公園に行ってきました。当日、天気は朝から雨でした。案の定、雨の中動物たちは雨宿り。いつもより少し元気がない様子にも見えました。「雨が降っても水牛は元気だ」というどこから来たか分からない情報も、デマだということが判明しました。しかし、そんな中でも女学院生は元気でした。ワイワイ言いながら昼食会場で点呼を受け、昼食を済ませると、休憩する時間も惜しそうにすぐさま園内散策に再度飛び出していきました。「雨が降っても女学院生は水牛より元気だ」というのが正しい情報のようです。あいにくの雨でしたが、結局時間いっぱい動物園を楽しんで帰路につきました。雨天のおかげで一般客がほとんどおらず貸し切り状態でのびのびと楽しめたようです。雨天でも元気に楽しめる女学院生のたくましさを感じることができた一日でした。

(中1学年会)

### 《中2》 秋の遠足

中2は、クラス毎に遠足の行き先や現地での活動を企画しました。各クラスのHR委員と合宿係が中心となって、LHR や終礼を使って遠足のルールや当日のタイムスケジ

ジュールなどを全て自分たちで考えました。行き先は、1組が備北丘陵公園、2組がもみの木森林公園、3組が上野養魚場、4組が湯来釣り堀、5組が中央森林公園でした。当日はあいにくの雨となってしまいましたが、事前に雨天を想定したプログラムを生徒たちが考えてくれていたので、どのクラスも遠足を満喫することが出来ました。主体性を引き出すことを目的とした今回の取



り組みが、普通の学校生活にも活かされていくことを期待しています。

(中2学年会)

### 《中3》長崎研修旅行

10月4日(水)～6日(金)の3日間、中3生徒たちは長崎研修旅行へ行ってきました。

1日目は出発式を行った後、新幹線・バスにて一路長崎へ。到着後は平和公園周辺で最初の班別研修。原爆資料館を中心に、平和に関する場所を見学しました。ホテルに到着した後は、語り部の方の貴重なお話を聞かせてもらいました。1日目の活動を通して、新たに学んだことや再確認できた



ことがたくさんあったようです。特に語り部の方の講話を聞く生徒の真剣な表情が印象的でした。

2日目は、落下中心地碑での平和セレモニーを終えた後、班別自由研修を行いました。この日は、午前中は主に平和に関する場所の見学、午後からは長崎の歴史や文化に触れることが目的でした。午前・午後合わせて約5時間の班別研修では、それぞれの班のテーマに合わせて、長崎特有の外国

文化の入り混じった街並みを自分の目で見て、感じることでできる一日となりました。

最終日はハウステンボスでの班別行動でした。アトラクションを楽しむ生徒、飲食を楽しむ生徒、お土産などの買い物を楽しむ生徒など、とても楽しんでいる様子が見られました。

研修旅行を無事に終えることができたのも、生徒一人一人が時間を守り、周りを気にかけて行動ができたおかげです。この団体旅行を通して生徒たちはまた一回り成長したと感じました。この研修旅行を、長崎の歴史を知り、平和について考え、今後の自分の考え方の基盤として、何か行動を起こしていくきっかけとしてほしいと思います。今後のLHRでは、班別研修で学んだ長崎の平和や文化についてレポートを作成し、発表します。現地で学んだことを、次の学びにつなげていきましょう。

(中3学年会)

### 《高1》遠足

高1の遠足は、クラスごとに企画して実施しました。A組は宮島、B組とD組は尾道、C組は湯来町の砂谷牧場、E組は倉敷でした。あいにくの雨となりましたが、雨の中、日常の学校から離れて楽しんでいました。普段学校で見ることのできないいい顔をしていましたよ。



(高1学年会)

### 《高2》沖縄修学旅行

10月3日(火)～6日(金)の4日間、星野校長を団長として高2生徒と教員の計226名で沖縄修学旅行へと旅立ちました。4日間を通して晴天にめぐまれた沖縄は10月とは思えない暑さで、最終日は広島と15℃の気温差だったそうです。

到着初日は「よみたんガイド風の会」の比嘉涼子さんの講話を聞き、チビチリガマの中にも入りました。2日目の平和学習では今年度から①沖縄尚学高校との交流②平和公園フィールドワーク③南風原文化センター④対馬丸記念館⑤嘉手納基地⑥普天間基地の6つのコースに分かれて沖縄の歴史と今を学びました。どのコースも1学期からしっかりと事前学習をして臨みましたが、生徒たちが現地で真剣に「沖縄」に向き合う姿がとても印象的でした。今年で4回目となる沖縄尚学高校との交流会では高校生ならではの率直な意見も交わされ、ディスカッションを中心とした活気あふれる会となりました。

後半は沖縄の自然と文化を楽しむ行程です。3日目午前の美ら海水族館では豊かな海の魚たちを見学しました。午後の体験学習ではシュノーケリングやシーカヤックに繰り出し、シーサー・パインジャム・沖縄菓子・美ら海キャンドル作りと、どの体験も充実した体験となりました。最終日は首里城を見学した後、国際通りを自由散策、別れを惜しみながら帰路につきました。

修学旅行を無事に終えることができたのも、生徒一人一人が自制心と協調性を持ちながら、主体的に考え行動することができたおかげです。この団体旅行を通じて生徒たちはまた一回り成長したと感じました。事前準備や送迎など支えてくださったご家族や全ての関係者の方々に深く感謝いたします。



(高2学年会)

## 《高3》遠足

雨でも開園しているならと、雨具を着用して雨なんてお構いなく思いっきり遊んでリフレッシュしてやる！と腹を決めて、向かった「みろくの里」。すると、降水確率90%にも関わらず、到着して間もなく奇跡的に雨が止んだのでした。

ジェットコースターは乗れなかったものの、バイキング、回転ブランコなど、余すところなく楽しみました。優雅な「ティーカップ」を高速回転させる強者も。園内には昭和30年代のセットがあり、駄菓子やグッズもレトロ感満載です。テレビでしか見たことのない家電もたくさん展示され、とても新鮮でした。

(高3学年会)

## キリスト教強調週間・主題講演保護者開放のご案内

今年度のキリスト教強調週間は、11月13日(月)～18日(土)、「何を願っている人間？」というテーマで実施いたします。11月14日(火)は通常の授業に替えて、主題講演と学年ごとの特別プログラムが組まれます。

主題講演講師、<sup>あづみりきや</sup>安積力也先生は、聖書が示す人間観に立った人間教育を志し、敬和学園高等学校(新潟)社会科教諭・教頭、日本聾話学校(東京)校長、恵泉女学園中学高等学校(東京)校長、基督教独立学園高等学校(山形県)校長を経て、2015年3月、退職。

全国各地での講演、NHK「ラジオ深夜便」「宗教の時間」、NHK・Eテレ「こころの時代」などに出演。著書『教育の力』(岩波ブックレットNo. 715)など。

8月の教職員研修会でもお招きしました。「教育とは子どもが世界に二つとない固有の自分自身になっていくために、子どもの心の奥に届く種を、祈りをもって蒔き続け

る業」など、教師としての根幹を揺さぶられる内容で、ぜひ生徒や保護者の皆さんとも分かち合いたいと感じました。

以下の主題講演を保護者の皆様にも開放いたします。例年、多くの生徒たちの心に残る女学院ならではの深い出会いの機会をぜひお子様と共に経験していただけたらと思います。

日時：11月14日（火）

高校主題講演 9時05分～10時35分

中学主題講演 10時45分～12時05分

場所：ゲーンホール

生徒席の後や補助席にお座りください。なお、生徒たちが講演に集中できるよう途中の出入りはできるだけお控えいただきますようご協力お願いいたします。

（宗教教育委員会）

## 最終下校時刻変更のお知らせ

最終下校時刻についてですが、文化祭翌日の11月4日（土・振替休日）より、中学生は17：30、高校生は18：00となります。ご家庭で帰宅時間の確認をお願いします。

（中学・高校生徒会）

## 保健室だより（6）

朝晩、冷え込む季節になってきました。

体調をくずして保健室で休養した翌日には、欠席という生徒もだんだんと増えてきました。よくよく話してみると、前日に、夜中0時を過ぎて寝てしまったなどということも耳にします。

体調管理は、日常の生活リズムを守ることから。

うがい、手洗い、できる限り同じ時間に夕食をとる、シャワーよりも入浴してリラックスする、運動を継続する、などの小さな生活習慣が、免疫力を高めることでしょう。

（保健室）

## 心の健康（6）

11月。木々の葉は色とりどりです。よく見ると、濃い緑、薄緑、紅色、朱色、黄色、黄金色、茶色とカラフルです。色彩心理学によると、人間の心と色彩の間には非常に強い関係があるそうです。

そういえば、私たちがも日頃、明るい色の服を着て気分転換したり、部屋に鉢植えを飾って彩りを楽しんだりします。また、食事のとき、野菜の色の取り合わせやお弁当の彩りに気配りして満足感を得ます。このように人は身の回りの色に影響されてリラックスしたり元気になったりします。

11月の文化祭が終わると、自然界が送ってくれる紅葉した秋の木々を見、色を楽しんで、心が開放されていくのを味わってみましょう。自然の色は人に優しいので、心の健康を応援してくれます。

（カウンセラー）



## 生徒の活躍

《中学》

◇中学新体操部

\*第66回広島県中学校総合体育大会

**団体**：優勝

◇中学放送部

\*第34回広島市中学校総合文化祭

放送コンテストの部

**団体**：テレビ番組部門 4位

**個人**：アナウンス部門

H・M（3-5） 入選

《高校》

◇高校水泳部

\*広島県高等学校新人水泳競技大会

T・M（2-D）

400m 個人メドレー 1位

200m 個人メドレー 2位

\* 中国高等学校新人水泳競技選手権大会

T・M (2-D)

400m 個人メドレー 6位

200m 個人メドレー 5位

◇個人の活躍

\* 第39回ハイスクール・ミュージック・コンサート

N・H (3-E) ピアノ部門

H・M (2-B) 管弦打部門

以上2名、最優秀賞

**教職員の動向**

○10月25日に英語科の常本奨悟先生に女兒が誕生されました。おめでとうございます。

和(なごみ)ちゃんです。ご成長の上に神様の豊かな祝福をお祈りします。

○美術科の中田千智先生が9月に結婚されました。おめでとうございます。新家庭の上に神様の豊かな祝福がありますようにお祈りいたします。

11月行事予定

1	水	5, 6限 中2, 3論理力評価テスト
2	木	文化祭準備日(授業なし) (中3、高1・2出校日)
3	金	文化の日 文化祭
4	土	振替休日(11月3日(金)) 最終下校時刻変更(中学 17:30、高校 18:00)
5	日	
6	月	面接週間(40分授業)
7	火	1~3限 土曜授業
8	水	
9	木	
10	金	(中学)漢字検定
11	土	
12	日	
13	月	キリスト教強調週間
14	火	特別プログラム(授業なし)
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	45分授業 1限8:40~ キリスト教強調週間特別礼拝
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	木曜授業
23	木	勤労感謝の日 広島県高等学校ギターマンドリンフェスティバル
24	金	45分授業 参観日 高1・2スピーチコンテスト(7限~)
25	土	選択科目1号用紙提出 父親母親教室 学校教育セミナー
26	日	
27	月	
28	火	4~6限 土曜授業
29	水	
30	木	

**今月の聖句**

ひとりよりもふたりが良い。共に労苦すればその報いは良い。

コヘレトの言葉 4章9節

私たちは人のことを知っているつもりで、実は知らないことが多い。相手を知るといことは喜びにつながります。お互いを認め合い、つながることができるからです。2学期はこれから文化祭などの学校行事がありますが、そのような機会にしてほしい。

~10月20日 中学放送礼拝より~

(聖書科 T・M)